

1. 基礎情報

自治体名	愛知県豊橋市
担当部署名	市民協創部多文化共生・国際課
電話番号	0532-51-2007
ホームページ	https://www.city.toyohashi.lg.jp/2679.htm



豊橋市多文化共生・国際課 相談窓口

在留外国人数	令和7年4月現在	21,836	人	住民基本台帳人口に占める割合	6.0	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ブラジル)	8,638	人	2位 (フィリピン)	5,290	人
				3位 (ベトナム)	1,877	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備
取組のポイント	多言語での相談体制及び情報発信を充実することで、外国人市民が安心して暮らすことができるようにする。
具体的な取組内容	豊橋市の外国人市民は増加傾向にあり、令和7年4月現在で約2万2千人にのぼり、人口に占める外国人市民の割合は約6%である。また、国籍・在留資格の多様化に伴い外国人市民の求める情報も従来以上に幅が広く、深度が増している。さらに災害時では、迅速な対応と情報発信が求められている。本市で設置している相談窓口と情報発信方法については以下の通り。 【相談窓口①】市役所 多文化共生・国際課（対応内容：市の手続きに係る相談等） 受付：月～金曜日（祝日を除く）、9時～17時。対応言語：ポルトガル語、タガログ語、英語、ベトナム語、インドネシア語。 翻訳機等を使用して30言語に対応可能。方法：電話または対面。 【相談窓口②】豊橋市外国人総合相談窓口 インフオピア（豊橋市国際交流協会内）（対応内容：生活全般、日本語学習、専門相談等） 受付：毎日（祝日、年末年始を除く）、9時～17時。対応言語：ポルトガル語、タガログ語、英語、ベトナム語。 その他翻訳機等を使用して対応可能言語あり。方法：電話または対面。 【情報発信】多文化共生・国際課 フェイスブック 対応言語：やさしい日本語、ポルトガル語、タガログ語、英語、ベトナム語、インドネシア語。メッセージを通しての相談にも対応。

大分類	生活支援
小分類	教育機会の確保
取組のポイント	就学前幼児～中学生までこれ目のない日本語学習支援を行うことで、外国人児童生徒等の日本生活への適応や進学・就職において希望する進路へ進むことができるようにする。
具体的な取組内容	外国人の子どもたちがどの年齢で来日しても、日本での生活に適応したり、希望する進路へ進むことができるようにするため、日本語教育の機会を設けている。 【プレスクール事業】 対象：就学前幼児、時期：10月～3月、参加人数：3か所計延べ323人（R6年度実績） 内容：学齢期に達していない幼児を対象に、ひらがななどの初期日本語指導等を行う。 【小学校初期支援コース】 対象：来日間もない小学2～6年生の外国人児童 参加人数：きぼう 年間延べ20人（R6年度実績） 参加人数：みらい西 年間延べ11人（R6年度実績） 内容：1日5時間×8週間、日本の小学校生活への適応指導や基本的な学習、日本語指導等を行う。 【中学校初期支援コース】 対象：来日間もない中学1～3年生の外国人生徒 参加人数：みらい東 年間延べ31人（R6年度実績） 参加人数：みらい西 年間延べ14人（R6年度実績） 内容：1日5時間×10週間、日常会話、日本語の読み書き、数学や英語の基礎等の指導を行う。 【中学生向けアフタースクール事業】 対象：市内中学校に通う外国人生徒、時期：通年、参加人数：3か所計延べ1,565人（R6年度実績） 内容：各会場週に1～2回、日本語指導や学習指導を行う。